

令和3年度介護保険給付費 第8期計画値との比較・増減理由分析（モニタリング）

項 目	内容・単位	R3計画値 (A)	R3実績値 (B)	増減 (B-A)	率 (B/A)	増減理由・分析
◎ 第1号被保険者	人	50,305	50,360	55	100.1%	
◎ 被保険者1人当り給付	円	259,655	255,472	△ 4,183	98.4%	
◎ 認 定 者	人	9,128	9,148	20	100.2%	
◎ 認 定 率	%	18.1%	18.2%	0.1%	100.6%	
居 宅 サ ー ビ ス (予 防 含 む)	利用件数(件)	55,440	56,310	870	101.6%	
	1人給付額(円)	94,012	90,462	△ 3,550	96.2%	
	利用 率 %	607.4%	615.5%	8.1%	101.3%	
	給 付 額 (円)	5,212,051,000	5,093,925,606	△ 118,125,394	97.7%	
訪 問 介 護	延 件 数	21,641	21,867	226	101.0%	延件数・延回数はほぼ計画どおり推移したが、1回当たり単価の減により給付額は若干減少した。
	延 回 数	295,112	298,137	3,025	101.0%	
	給 付 額 (円)	1,419,970,000	1,396,283,263	△ 23,686,737	98.3%	
訪 問 入 浴 介 護	延 件 数	960	1,040	80	108.3%	感染症の影響により自宅でサービスを受けるニーズが高まっていることで、件数・給付額ともに増加したものと考えられる。
	延 回 数	4,764	4,897	133	102.8%	
	給 付 額 (円)	56,490,000	58,091,800	1,601,800	102.8%	
訪 問 看 護	延 件 数	6,276	6,794	518	108.3%	訪問看護事業所の増による増加及び感染症の影響により自宅でサービスを受けるニーズの高まりに伴い増加したものと考えられる。
	延 回 数	33,272	36,372	3,100	109.3%	
	給 付 額 (円)	222,647,000	229,776,186	7,129,186	103.2%	
訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	延 件 数	717	653	△ 64	91.1%	延件数・延回数は減少したが、1回あたり単価の増により給付額は増加した。
	延 回 数	3,182	3,057	△ 125	96.1%	
	給 付 額 (円)	24,118,000	24,778,084	660,084	102.7%	
通 所 介 護	延 件 数	13,140	12,762	△ 378	97.1%	計画策定時は、感染症の影響による減少から回復する見込みとしていたが、長期化により減少傾向が継続したものと考えられる。
	延 回 数	114,480	104,204	△ 10,276	91.0%	
	給 付 額 (円)	857,495,000	787,598,940	△ 69,896,060	91.8%	
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	延 件 数	6,696	6,481	△ 215	96.8%	計画策定時は、感染症の影響による減少から回復する見込みとしていたが、長期化により減少傾向が継続したものと考えられる。
	延 回 数	43,752	42,255	△ 1,497	96.6%	
	給 付 額 (円)	350,991,000	344,991,909	△ 5,999,091	98.3%	
福 祉 用 具 貸 与	延 件 数	35,436	36,491	1,055	103.0%	感染症の影響により自宅でサービスを受けるニーズが高まっているものと考えられる。
	給 付 額 (円)	357,341,000	381,431,700	24,090,700	106.7%	
短 期 入 所 生 活 介 護	延 件 数	3,996	3,405	△ 591	85.2%	短期入所生活介護に係る定員数の減に伴う減少であるが、ショートステイのニーズは高いため、新規整備を検討する必要がある。
	延 日 数	54,624	41,529	△ 13,095	76.0%	
	給 付 額 (円)	458,620,000	354,769,676	△ 103,850,324	77.4%	
短 期 入 所 療 養 介 護	延 件 数	156	174	18	111.5%	短期入所生活介護の定員数の減少により、ショートステイのニーズが短期入所療養介護に転嫁したものと考えられる。
	延 日 数	1,356	1,554	198	114.6%	
	給 付 額 (円)	13,203,000	15,866,977	2,663,977	120.2%	
居 宅 療 養 管 理 指 導	延 回 数	15,819	18,024	2,205	113.9%	感染症の影響により自宅でサービスを受けるニーズが高まっているものと考えられる。
	給 付 額 (円)	59,822,000	64,841,543	5,019,543	108.4%	
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	延 件 数	4,980	4,965	△ 15	99.7%	延件数はほぼ計画どおりだが、1回当たり単価の増により給付額は増加した。
	給 付 額 (円)	702,795,000	720,401,354	17,606,354	102.5%	
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護 短 期	延 件 数	0	7	7	0.0%	計画策定時は見込んでいなかった利用が発生したことによる増加。
	給 付 額 (円)	0	865,125	865,125	0.0%	
特 定 福 祉 用 具 購 入 費	延 件 数	780	759	△ 21	97.3%	要支援者の件数等は増加したが、要介護者の件数等が減少したことによる減少。
	給 付 額 (円)	21,227,000	20,107,157	△ 1,119,843	94.7%	
住 宅 改 修 費	延 件 数	948	955	7	100.7%	件数等は要支援者で減少、要介護者で増加となったが、全体としては計画値どおり。
	給 付 額 (円)	52,960,000	53,084,016	124,016	100.2%	
居 宅 介 護 支 援 費	延 件 数	50,460	51,345	885	101.8%	感染症の影響により自宅でサービスを受けるニーズが高まっているものと考えられる。
	給 付 額 (円)	614,372,000	641,037,876	26,665,876	104.3%	

項 目	内容・単位	R3計画値 (A)	R3実績値 (B)	増減 (B-A)	率 (B/A)	増 減 理 由 ・ 分 析	
地域密着型サービス (予 防 含 む)	利用件数(件)	27,648	29,481	1,833	106.6%		
	1人給付額(円)	101,066	92,699	△ 8,367	91.7%		
	利用率%	302.9%	322.3%	19.4%	106.4%		
	給付額(円)	2,794,267,000	2,732,845,558	△ 61,421,442	97.8%		
	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	延 件 数	552	529	△ 23	95.8%	延件数は減少したが、1回当たり単価の増により給付額は増加した。
	給付額(円)	53,938,000	59,285,413	5,347,413	109.9%		
	認知症対応型通所介護	延 件 数	36	46	10	127.8%	感染症の影響により延回数及び給付額が減少したものと考えられる。
		延 回 数	444	433	△ 11	97.5%	
		給付額(円)	2,572,000	2,175,921	△ 396,079	84.6%	
	小規模多機能型 居 宅 介 護	延 件 数	1,536	1,585	49	103.2%	要支援者の利用割合が増加したことにより、給付額の減少となった。
		給付額(円)	278,790,000	270,790,372	△ 7,999,628	97.1%	
	認知症対応型 共 同 生 活 介 護	延 件 数	5,904	5,713	△ 191	96.8%	新規整備のGHの一部で開始が遅れたことにより延件数・給付額が減少した。
		給付額(円)	1,494,140,000	1,456,138,476	△ 38,001,524	97.5%	
	地域密着型特定施設入 居 者 生 活 介 護	延 件 数	348	340	△ 8	97.7%	ほぼ計画値どおりの推移となった。
給付額(円)		62,465,000	63,143,865	678,865	101.1%		
地域密着型 介 護 老 人 福 祉 施 設	延 件 数	1,044	1,052	8	100.8%	ほぼ計画値どおりの推移となった。	
	給付額(円)	303,081,000	302,178,294	△ 902,706	99.7%		
地域密着型通所介護	延 件 数	9,108	10,100	992	110.9%	計画策定時は、感染症の影響による減少から回復する見込みとしていたが、想定ほど回復しなかったことによるものと考えられる。	
	延 回 数	75,564	73,719	△ 1,845	97.6%		
	給付額(円)	596,538,000	575,537,249	△ 21,000,751	96.5%		
複 合 型 サ ー ビ ス	延 件 数	12	16	4	133.3%	市外居住者の利用が増加したことによる増加。	
	給付額(円)	2,743,000	3,595,968	852,968	131.1%		
施 設 サ ー ビ ス	利用件数(件)	15,156	14,888	△ 268	98.2%		
	1人給付額(円)	280,212	283,330	3,118	101.1%		
	利用率%	166.0%	162.7%	△ 3.3%	98.0%		
	給付額(円)	4,246,893,000	4,218,224,024	△ 28,668,976	99.3%		
	介護老人福祉施設	延 件 数	7,296	7,140	△ 156	97.9%	新規整備の特養で一部未利用のユニットがあることにより、延件数・給付額が減少した。
		給付額(円)	1,877,764,000	1,825,290,890	△ 52,473,110	97.2%	
	介護老人保健施設	延 件 数	5,628	5,511	△ 117	97.9%	ほぼ計画値どおりの推移となった。
		給付額(円)	1,597,186,000	1,583,177,121	△ 14,008,879	99.1%	
	介護医療院	延 件 数	1,656	1,907	251	115.2%	京都病院の介護医療院への転換により、延件数・給付額が増加した。
		給付額(円)	605,316,000	706,557,378	101,241,378	116.7%	
	介護療養型医療施設	延 件 数	576	330	△ 246	57.3%	京都病院の介護医療院への転換により、延件数・給付額が減少した。
		給付額(円)	166,627,000	103,198,635	△ 63,428,365	61.9%	
	特 定 入 所 者 介 護 サ ー ビ ス 等 費	件 数	30,082	29,236	△ 846	97.2%	補足給付制度の改正により、事前の試算ほど支給額の減少が見られなかった。
	給付額(円)	383,427,000	407,039,300	23,612,300	106.2%		
高 額 介 護 サ ー ビ ス 費	件 数	30,467	30,601	134	100.4%	支給件数はほぼ計画どおり推移したが、1件当たり単価の減により給付額は減少した。	
	給付単価	12,280	11,913	△ 367	97.0%		
	給付額(円)	374,121,000	364,551,969	△ 9,569,031	97.4%		
高 額 医 療 合 算 介 護 サ ー ビ ス 費	件 数	1,702	1,432	△ 270	84.1%	支給件数の減により給付額が減少した。	
	給付単価	23,549	26,425	2,876	112.2%		
	給付額(円)	40,080,000	37,840,160	△ 2,239,840	94.4%		
その 他 諸 費	審 査 支 払 手 数 料	件 数	182,115	188,042	5,927	103.3%	ほぼ計画値どおりの推移となった。
		手 数 料 単 価	61.0	59.0	△ 2	96.7%	
		手 数 料 (円)	11,110,000	11,118,130	8,130	100.1%	
★介護給付費・予防給付費	給付額(円)	13,061,949,000	12,865,544,747	△ 196,404,253	98.5%		